



# アドバンス助産師 認証申請要件 2022年からの改正のお知らせ

2022年からCLOCMiPレベルIII（アドバンス助産師）認証申請要件が改正され、日々の助産実践活動を申請により取り入れやすくなりました。  
申請要件の詳細は、アドバンス助産師プラットフォームのご案内ページをご覧ください。

## 新規申請要件の改正ポイント

2022年から、新規申請の**必須研修は21項目**になりました（7項目追加）。  
実施例数、学術集会、総合評価の要件は**変更ありません**。

## 更新申請要件の改正ポイント

2022年から**申請区分はなくなりました**。

2021年までの5つの申請区分（一般区分、看護管理者区分、WHC区分等）は、1つに統合されました。  
勤務状況や所属施設に関わらず、共通の申請要件を満たすと更新申請が可能です。

更新申請では、**分娩介助等の実施例数は要件ではなくなりました**。

新規申請時に一定の実施例数基準をクリアできており、助産実践能力を担保できていることから、2022年からの更新申請では、実施例数は要件から外れました。

さらに、**助産実践時間**を計上できるようになりました。

助産実践時間が助産実践能力の維持・向上に重要であることから、選択研修の一部として**最大80時間まで**計上可能になりました。助産実践時間には、助産師として施設で勤務した時間、助産・看護学教員として講義や実習をした時間、各種職能団体・学会・自治体等での活動時間などが含まれます。

より広範な研修を、**選択研修**として計上できるようになりました。

選択研修の条件を満たすものであれば、当機構以外の団体が主催する研修、学術集会での講演、院内研修、その他資格取得のための研修（認定看護管理者、ラクテーションコンサルタント、PALS、ALSO等）等も、すべて選択研修として申請に計上できます。

更新申請の**必須研修は20項目**になりました（6項目追加）。

## 再認証申請をご存知ですか？

アドバンス助産師の認証を喪失した方（更新年に更新申請しなかった方）も、再認証申請によって再び認証を取得することができます！  
再認証申請要件は、同年の更新申請要件と共通です。アドバンス助産師プラットフォームで詳細をご確認の上、再認証申請をぜひご検討ください。

